



## 5 days

前号は新聞記事の引用だったが、最初の話題のポイントは、第三段落の最後の文。いまだに人工知能研究の分野で、「皆目、見当がつかない」ことがあるという指摘だ。いかに人間の脳が優れているかということでもあるし、同時に、人工知能の研究を通して、そういう人間の素晴らしさが認識できるということでもある。ここでいかにも学級通信くさくなるが（笑）、外国語を勉強することで日本語の特色が分かったり、サルの研究を通して人間について考察するといったことと同じである。

二つ目の話題のポイントは、同じく3段落目の最後の文。「体を通して脳を鍛える」という発想の重要さである。ここでもまた学級通信くさくなるが（笑）、君たちが勉強する際にも、声を出したり、ノートに書いたり、実際に体を使う行為が重要なのである。勉強するときに考えてみてほしい。

しかし、「情報」の試験にも出ていた「セル・オートマトン」の考え方や人工知能の考え方など、科学の分野で新しい挑戦が行われていることを知るのワクワクするものだ。お掃除ロボットにしる、iPhone登載のSiriにしる、我々の生活の中にどんどん最先端の技術が応用されて入ってきている。このクラスの中からも、そんな最先端を支える人材が生まれるのかも知れない。

\*

さて、5 days である。準備の進み具体はどんな感じだろう？ 立ち稽古を見ていない

のでまったく分からないが、夏休みの台本読みではとても楽しい感じだったので、役者諸君には、あの雰囲気をどうか舞台の上で思いっきり表現してほしいものである。

大きな動きは必要なく、最小限の動き（目の動きなども含む）の中で、掛け合いの面白さ、セリフの面白さを生かすような演技、つまり、打てば響くような小気味よいやりとりを期待したい。だから、とにかくセリフがきっちり入っていなければどうにもならない。ここが勝負の分かれ目であるから、役者諸君は（発話のタイミングまで含めて）セリフの暗記に全力を注いでほしい。

土曜日に当番で学校に来た時は、「舞台」？の制作が行われているところだったのだが、教室の壁のコンセントが使えないということで●●くんが困っていた。経営企画室がお休みなので対処のしようがなく（ついでにエアコンも入らなかった…）、それなりに大変だったと思うが、きっと工夫して切り抜けたことだろう。

\*

今朝、教室を覗いたら、ある程度復元されていたので安心した。今日はまる一日、明日と明後日は半日の授業である（時間割変更が予定されているクラスもあるので、注意しておくこと）。おそらく、考査が返却されて目の前が真っ暗になる人がたくさんいるだろうが（笑）、考査は考査、授業は授業、そして、準備は準備と気分転換して、それぞれのことによってその場で集中してしっかり取り組もう。